

時期	R4年度	R5年度	R6年度
内容	・当事者より「パートナーシップ宣誓制度」の導入提案（6月） ・パートナーシップ宣誓制度導入自治体（岡崎市・春日井市）を視察 ・令和6年度よりパートナーシップ宣誓制度の運用開始の旨、市長答弁あり（R5.2月）	・パートナーシップ宣誓制度導入自治体（小牧市・春日井市）を視察 ・当事者に寄り添った制度にすべく、当事者と定期的にミーティングを実施 ・パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度運用開始に係る準備 ・職員研修（12月22日） ・当事者やALLY（注1）グループとの意見交換を実施（月1回・R5.6月～）	・「犬山市パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度」開始及び1組目の宣誓あり（4月1日） ・市職員の名札のデザイン変更（5月1日） →来庁者の視覚による「多様性社会を認め合う」ことへの理解促進 ・（愛知県内連携自治体にて）パートナーシップ・ファミリーシップ制度の自治体間連携の関する協定に参加（8月1日） ・職員研修（9月2日） ・宣誓者且つ住民票の世帯が同一の場合、「夫（未届）」、「妻（未届）」の表記選択が可能となる（10月1日） ※但し、戸籍上の性別が「男」の人が妻（未届）、「女」の人が夫（未届）を選択することは不可 ・宣誓者のパートナーに対する災害弔慰金の申請が可能となる（10月1日） ・大阪・京都・兵庫「パートナーシップ制度自治体間連携ネットワーク」に参加（11月1日） ・2組目の宣誓あり（11月） ・市役所内各課カウンター及び市主要施設にレインボーフラッグを設置（3月17日） ・当事者やALLYグループとの意見交換を実施（月1回）

注1:性的マイノリティの人をサポートしたり応援したりする人